

平成22年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 日本研紙株式会社

コード番号 5398 URL <http://www.nihonkenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 吉村 勉

TEL 06-6536-3511

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	3,015	41.1	350	631.8	297		108	
21年12月期第3四半期	2,137		47		18		6	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年12月期第3四半期	10.57	
21年12月期第3四半期	0.60	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
22年12月期第3四半期	4,641		1,725		36.0		163.39	
21年12月期	4,192		1,694		39.4		161.54	

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 1,670百万円 21年12月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年12月期				5.00	5.00
22年12月期					
22年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,000	30.0	330	360.3	280	564.3	100		9.78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、「添付資料」P.3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 10,246,500株 21年12月期 10,246,500株

期末自己株式数 22年12月期3Q 20,729株 21年12月期 20,646株

期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 10,225,806株 21年12月期3Q 10,226,328株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、「添付資料」P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日~平成22年9月30日)におけるわが国経済は、海外経済回復の影響を受けた製造業の輸出急回復があり、またエコカー補助金の後押しによる新車販売の好調もあり総じて回復基調で推移いたしました。しかしながら、期間後半には円高が急激に進み輸出環境が悪化し、補助金終了の反動による販売の落込みや株価変動等による消費の失速懸念もあり、経済環境は厳しさがましてまいりました。

このような経済環境のもと、当社グループについては、中国及び東南アジア諸国の需要拡大による受注増により収益が大きく改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,015百万円(前年同期比41.1%増)、営業利益は350百万円(前年同期比631.8%増)、経常利益は297百万円(前年同期は18百万円の経常利益)、四半期純利益は減損損失の計上もあり108百万円(前年同期は6百万円の四半期純利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,524百万円(前連結会計年度末2,968百万円)となり、前連結会計年度末と比べて556百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が225百万円、受取手形及び売掛金が187百万円それぞれ増加したことによります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,117百万円(前連結会計年度末1,224百万円)となり、前連結会計年度末と比べて107百万円の減少となりました。これは主に、減損処理を行ったことにより土地が72百万円減少したことによります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,014百万円(前連結会計年度末1,582百万円)となり、前連結会計年度末と比べて432百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が278百万円、未払法人税等が120百万円増加したことによります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、901百万円(前連結会計年度末916百万円)となり、前連結会計年度末と比べて15百万円の減少となりました。これは主に社債が80百万円、退職給付引当金が53百万円増加し、長期借入金が156百万円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,725百万円(前連結会計年度末1,694百万円)となり、前連結会計年度末と比べて31百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が56百万円増加したことによります。

キャッシュ・フローの状況について

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、各活動により225百万円増加し991百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は358百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益225百万円、非資金支出である減損損失72百万円及び仕入債務の増加額302百万円から売上債権の増加額192百万円を減じたものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は7百万円となりました。これは主として当社及び子会社における有形固定資産の取得によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は113百万円となりました。これは主として長期借入金の差引減少額211百万円並びに配当金の支払額51百万円から、社債の発行による収入100百万円を減じたものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年8月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」と現時点では変更ありませんが、今後の様々な要因によって実際の業績については大きく差異が発生する可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

1. たな卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	991,445	766,184
受取手形及び売掛金	990,372	802,499
商品及び製品	198,470	223,147
仕掛品	777,949	701,254
原材料及び貯蔵品	500,043	432,718
繰延税金資産	44,623	23,796
その他	22,211	19,065
貸倒引当金	625	455
流動資産合計	3,524,490	2,968,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	176,408	193,112
機械装置及び運搬具(純額)	106,217	128,829
土地	409,045	481,827
リース資産(純額)	4,250	5,209
建設仮勘定	72	307
その他(純額)	8,737	10,553
有形固定資産合計	704,732	819,840
無形固定資産		
投資その他の資産	12,248	13,720
投資有価証券	295,569	334,045
繰延税金資産	57,394	22,336
その他	51,934	37,015
貸倒引当金	4,731	2,428
投資その他の資産合計	400,166	390,968
固定資産合計	1,117,146	1,224,529
資産合計	4,641,636	4,192,741

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	767,010	488,529
1年内償還予定の社債	20,000	-
短期借入金	920,142	929,743
リース債務	1,279	1,279
未払法人税等	122,401	1,886
役員賞与引当金	9,000	-
その他	174,903	160,757
流動負債合計	2,014,736	1,582,196
固定負債		
社債	80,000	-
長期借入金	581,963	738,917
リース債務	2,971	3,929
退職給付引当金	141,012	87,314
役員退職慰労引当金	95,262	86,375
固定負債合計	901,209	916,537
負債合計	2,915,946	2,498,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	512,325	512,325
資本剰余金	56,182	56,182
利益剰余金	1,092,506	1,035,545
自己株式	4,510	4,500
株主資本合計	1,656,503	1,599,551
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,071	49,006
為替換算調整勘定	7,769	3,290
評価・換算差額等合計	14,301	52,297
少数株主持分	54,884	42,159
純資産合計	1,725,689	1,694,008
負債純資産合計	4,641,636	4,192,741

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,137,071	3,015,997
売上原価	1,446,781	1,992,815
売上総利益	690,289	1,023,182
販売費及び一般管理費	642,350	672,365
営業利益	47,939	350,816
営業外収益		
受取利息	1,199	639
受取配当金	2,821	3,043
受取保険金	1,137	-
債務勘定整理益	1,716	-
その他	669	601
営業外収益合計	7,544	4,284
営業外費用		
支払利息	29,420	24,492
手形売却損	473	118
固定資産除却損	257	520
為替差損	5,951	31,794
その他	1,146	340
営業外費用合計	37,250	57,266
経常利益	18,233	297,834
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,011	-
固定資産売却益	3,605	-
特別利益合計	4,617	-
特別損失		
投資有価証券評価損	9,175	-
減損損失	-	72,782
特別損失合計	9,175	72,782
税金等調整前四半期純利益	13,674	225,052
法人税、住民税及び事業税	10,734	144,335
法人税等調整額	7,016	43,309
法人税等合計	3,718	101,025
少数株主利益	3,857	15,935
四半期純利益	6,099	108,090

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	761,657	1,029,266
売上原価	510,232	628,429
売上総利益	251,425	400,836
販売費及び一般管理費	204,327	220,358
営業利益	47,097	180,478
営業外収益		
受取利息	319	159
その他	-	141
営業外収益合計	319	301
営業外費用		
支払利息	8,661	7,601
手形売却損	126	-
為替差損	16,284	16,757
固定資産除却損	13	10
その他	24	106
営業外費用合計	25,110	24,476
経常利益	22,305	156,303
特別損失		
投資有価証券評価損	9,175	-
特別損失合計	9,175	-
税金等調整前四半期純利益	13,130	156,303
法人税、住民税及び事業税	457	60,755
法人税等調整額	5,003	7,729
法人税等合計	5,461	53,026
少数株主利益	2,275	7,682
四半期純利益	5,393	95,595

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,674	225,052
減価償却費	42,894	38,382
減損損失	-	72,782
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,139	2,473
受取利息及び受取配当金	4,021	3,683
支払利息	29,420	24,492
退職給付引当金の増減額(は減少)	69,903	53,697
前払年金費用の増減額(は増加)	10,987	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,985	8,887
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	9,000
有形固定資産売却損益(は益)	3,605	-
投資有価証券評価損益(は益)	9,175	-
売上債権の増減額(は増加)	19,242	192,994
たな卸資産の増減額(は増加)	191,893	134,410
仕入債務の増減額(は減少)	295,383	302,468
未払費用の増減額(は減少)	21,232	33,263
未払消費税等の増減額(は減少)	24,181	15,248
未収入金の増減額(は増加)	5,781	3,563
その他	18,384	24,057
小計	53,810	403,669
利息及び配当金の受取額	4,711	3,689
利息の支払額	30,488	24,266
法人税等の支払額	37,778	24,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,744	358,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	13,836	6,019
有形固定資産の売却による収入	5,000	-
投資有価証券の取得による支出	999	1,035
その他	988	784
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,175	7,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	280,017	50,000
長期借入れによる収入	800,000	100,000
長期借入金の返済による支出	309,262	311,815
社債の発行による収入	-	100,000
自己株式の取得による支出	110	10
リース債務の返済による支出	848	958
配当金の支払額	51,134	51,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,625	113,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	168	11,228
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	237,887	225,260
現金及び現金同等物の期首残高	471,844	766,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	709,732	991,445

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

事業の種類として「研磨材製商品の製造販売事業」及び「茶類及び医薬部外品等の販売事業」に区分しておりますが、全セグメントの売上高及び営業利益の金額の合計額に占める「研磨材製商品の製造販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,926,778	210,292	2,137,071	-	2,137,071
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,505	-	116,505	116,505	-
計	2,043,283	210,292	2,253,576	116,505	2,137,071
営業利益	16,520	16,433	32,954	14,985	47,939

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,530,015	485,982	3,015,997	-	3,015,997
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	395,350	-	395,350	395,350	-
計	2,925,365	485,982	3,411,347	395,350	3,015,997
営業利益	251,844	77,139	328,983	21,832	350,816

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

3 会計処理方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計準第9号)を適用しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で785千円減少しております。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社は、平成20年度の法人税法改正に伴い、第1四半期連結会計期間より機械装置等の耐用年数の変更を行っております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で1,346千円減少しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	アジア	その他	計
海外売上高(千円)	459,800	19,517	479,317
連結売上高(千円)			2,137,071
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	21.5	0.9	22.4

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	アジア	その他	計
海外売上高(千円)	822,547	11,620	834,168
連結売上高(千円)			3,015,997
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.3	0.4	27.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア.....東アジア及び東南アジア諸国

その他.....アメリカ(北米、南米)、欧州(ヨーロッパ諸国)等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。